



謹賀新年



第8高射特科群長兼青野原駐屯地司令
1等陸佐 栗田 千寿

年頭の御挨拶

「青野原」をお読みの皆様、いつも駐屯地へのご理解ご協力ありがとうございます。令和六年の年頭にあたり、新年のお慶びを申し上げます。

昨年はコロナ後の年として、駐屯地所在部隊は各種業務にまい進することができました。「明るい駐屯地」を目指す青野原駐屯地では隊員の笑い声がよく聞こえます。特に五月以降はマスクも取れ、お互いの顔を見て意思疎通し言葉を贈り合うことができ、部隊の団結も大いに高まっているように感じています。

お陰様で、各部隊は隊務において着実に成果を上げています。これは各部隊指揮官をはじめ、駐屯地全隊員の知恵と意思の結晶であり、隊員家族の皆様、各協力団体の皆様、地域の皆様のお力添えの賜物です。司令として「部隊を強く、隊員を幸せに」を念頭に、今年も各種の改善を図ってまいります。駐屯地は昨年多くの新隊員を迎えました。いま駐屯地所属隊員の約一割は、入隊一年目の隊員です。募集難と言われる昨今、これは大変なことです。隊員は宝、大切に守り育てていきますので、皆様ぜひ若い彼女らへの応援をお願いします。

【発行】 原野青野原
防衛協会連合会
駐屯地連絡会

【印刷】 (株)前田精版印刷

駐屯地司令要望事項

明るい駐屯地
群長要望事項
自ら考えよ
一日一優



い致します。さて今年、駐屯地は創設四十八周年を迎えます。駐屯地はいわば辰年生まれの子年女という訳で、良い年になりそうです。また来る三月には、第八高射特科群は対空戦闘指揮統制システムを新たに装備し、高射運用隊が新編されます。昨今の情勢下、我が国の防空の一翼を担う第八高射特科群への期待度はますます大きくなっており、群隊員一丸となり今年も精進します。

駐屯地司令として今年の抱負は、積極的な情報発信です。ロシアによるウクライナ侵攻の状況を見るにつけ、国防は政府や軍の諸活動はもちろん、国民の意志と力の結集が重要であることを痛感させられます。我が国においてはどうか。防衛に関する知識は十分普及されているでしょうか。防衛白書で強調されている安全保障環境など、きちんと国民の皆様が届いているでしょうか。

国際社会は戦後最大の試練を迎え、新たな危機の時代に突入していること。我が国周辺では力による一方的な現状変更の圧力が高まっていること。中国の軍事動向は我が国と国際社会の深刻な懸念事項であること。北朝鮮の軍事動向は従前よりも一層重大かつ差し迫った脅威であること。「認知戦」に負けないため、防衛に関する正しい情報を知り、一人でも多くの国民の皆様へ届けることは、いち部隊指揮官として自隊を練成することと同様に重大な責務との認識を持っています。自身の職務・責任範囲を踏まえた上で正確性に留意しつつ、積極的に情報発信をしていきます。皆様におかれても、我が事としての我が国の防衛についてご関心をお持ち頂ければ幸いです。

新たな年が読者の皆様にとって、素晴らしいものとなりますようお祈り申し上げます。



第8高射特科群
最上級曹長
准陸尉
中山 以足



新年明けましておめでとうございます。隊員及びご家族の皆様、並びにOB、各協力団体の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、駐屯地として新隊員が多数加わり、また3曹昇任者20名以上を輩出しました。今年も、高射運用隊の新編が予定されており、変革の年となりますが、引き続き、皆様の負託に応えるべく努力を重ねて参ります。自衛隊に対する変わらぬご理解と応援のほどよろしくお祈り申し上げます。皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



防衛協会青野原駐屯地
連合会 会長
黒田 秀一

新年明けましておめでとうございませう。青野原駐屯地の皆様、各防衛協会の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症(2類相当)の位置づけが5年8月から「5類感染症」になり、コロナ禍という長いトンネルを経て、新型コロナウイルス



青桜会 会長
野口 英司

新年あけましておめでとうございませう。長期化するロシアによるウクライナ侵攻、パレスチナ武装勢力ハマスとのテロに端を発する紛争の中、国内的にはコロナ禍から緩やかに回復基調を示す経済状況の中で迎えた新年、2024年は甲辰の年です。

甲辰年は一般的に「成功の芽が成長し姿を整えていく勢いのある。」一年と言われているようです。前回の甲辰年1964年は世界的には米ソ冷戦、アジアではベトナム戦争の最中、国内では東京オリンピックが開催され、これに伴う様々なインフラの整備、中でも新幹線・首都高速主要路線開通は、じ後の経済成長の基盤となりました。

翻ってこの現代、マスコミは各々の主張、情報・映像、ネガティブキャンペーンを垂れ流し、ここ最近では政治

ロナウイルスと共存、共栄していく新たな生活の第一歩の年となりました。今まで自粛していましたが、物も実施されるようになり、人と人とのコミュニケーション、大切な方々とのつながりを深められるようになってきました。

しかし市場経済は、コロナ禍から各国の需要回復とロシアのウクライナ侵攻によって資源価格が上がり、世界的に物価が高騰、日本におきましては円安も重なって輸入コストが増加し、商品価格の値上げが続きました。賃金アップは行われていませんが、物価高に追いついていない状況です。

また、地球温暖化、エルニーニョ現象により海水温が上がり、世界的に気候災害、森林火災、干ばつ、洪水被害が増えています。

日本でも最も暑い夏となり、残暑も長く続き夏日となる日も多くあります。さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、中国の核・ミサイル戦力を含め、軍事力が急速に強化、東シナ海、南沙海において、力による一方的な現状

は批判される一方で強いリーダーシップを発揮できない状況が続いています。東京オリンピック・大阪万博等の成功体験、少なくとも当時はマスコミも大成功と言っていたのを見て育った世代としては、もどかしく思い、今年こそは希望に溢れ経済的にも精神的にも潤いのある年であって欲しいと願うばかりです。

保安隊から自衛隊となったばかりの昭和30年代、高射砲有効射程の限界から中長距離防空の必要性によりロケット実験隊が編成され、先人達は高射学校の碑にある「理想を持って、勇気を持って、前進せよ」の言葉の下、ナイキ・ホーク米留パッケージ訓練時代の困難を克服し、1964年に初めてのホーク実射訓練成功を果たしました。

近年、防衛費の増額により新装備が話題となつていますが、ハード面の格差が無くなった今は兵站の拡充、教育訓練環境・施設の改善、戦う隊員の福利厚生充実が重要と思われれます。

また、自衛隊が後顧の憂い無く活動するにはその根柢となる法制の整備も必要となりますが例えその整備が遅れたとしても有事は待つてくれず、如何なる状況でも対応できる態勢を維持し続けなければなりません。

変更や、その試みを継続・強化、また台湾周辺での軍事活動を活発化。北朝鮮による核、弾道ミサイル開発の進展。ロシアによるウクライナ侵攻から始まり、ロシアと中国との戦略的連携、極東方面、北方領土における活動の活発化。宇宙・サイバー・電磁波の領域や情報戦などをめぐる動向等、一層厳しさを増しております。

このような中で、自衛隊員の皆様は、国家防衛戦略に基づき、防衛力の強化、周辺海空域の警戒監視、海外任務はもとより、有事への着実な備え、大規模自然災害にも対応するため、日々訓練、知識・技能・能力の向上に精励されております。

国内では、昨年も自然災害への対応に活躍されました。私ども青野原駐屯地連合会といたしましては、隊員の皆様は任務に精励され、国民の期待に応えていただけるよう、支援、協力、組織力の強化により一層努めてまいります。

皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

ねにより、良き伝統を築くとともに有事に対して着実に備え続けることを多くの地域住民、国民が期待しています。我々青桜会は、有事に備えて訓練に邁進し、災害の度に活躍する自衛隊、理想の下に勇気を持って前進する駐屯地隊員の皆様の動向に注目し、常に応援しております。

どうかお体を大切にして任務に邁進されることを祈念し、新年の御挨拶と致します。

あけましておめでとうございませう。



部隊長挨拶



青野原駐屯地業務隊長
2等陸佐
伊野 健二

新年明けましておめでとうございます。隊員及びご家族の皆様、並びに協力団体の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年八月に第二十六代業務隊長として着任しました。よろしくお祈いしませ。

昨年は、気候の変動、物価高騰等に対応する中で方面兵站会同に参加し、駐屯地基盤のあり方の検討を行い、各部隊の任務遂行に寄与することができました。

さて、本年(皇紀二六八四年)の干支の「辰」は「大きく発展し形が整う」年と言われます。業務隊は干支に因んで「昨年の検討を進展させ様々な事態に求められる駐屯地基盤の形を整える」年としていきたいと思っております。

引き続きのご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



本部管理中隊長
1等陸尉
伊野 弘

新年あけましておめでとうございます。隊員及びご家族の皆様、並びに各自衛隊協力団体の皆様におかれましては、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化及びイスラエル軍によるガザ地区への侵襲等、世界情勢が緊迫する中、直轄小部隊訓練検閲をはじめ各種訓練及び部外行事支援等への参加を通じて、高い使命感と熱い魂を胸に、毅然と任務を遂行できる隊員を目標として日々訓練に励み、隊員一人一人が成長することができました。

これに、隊員一人一人の高い使命感と努力、隊員ご家族の理解及び各協力団体のご支援・ご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

今年におかれましても、国民の負託

に込めるよう教育訓練及び各種支援等を通じて日々練成し、毅然として任務を遂行できるよう中隊一丸となり、何事にもチャレンジ精神をもって、訓練等に取り組んで参る所存であります。

隊員及びご家族、並びに各自衛隊協力団体の皆様におかれましては、これまでと変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、健康で充実した一年でありますように祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



第338高射中隊長
1等陸尉
木村 弘和

新年あけましておめでとうございます。隊員及びご家族の皆様、並びにOB・OG及び各協力団体の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、5年振りとなる中SAM部隊実射訓練検閲に向けて「高射特科隊員として、当たり前のようには誤りなく装置を操作し、当たり前のようには敵航空機等を全機撃墜し、当たり前のようには対空実射において要撃成功させる。」その結果、当たり前のようには高評価・日本一を獲得できる。」をスローガンに約8か月、厳しい訓練を重ね本番に臨み、無事その目標を達成することができました。

これもひとえに、隊員一人一人の任務達成への情熱と努力、隊員ご家族をはじめとした皆様のご支援、ご協力の賜物であり心より深く感謝申し上げます。

本年も、引き続き与えられた任務を完遂できるように訓練に取り組み精進して参りますので、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝、ご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



第339高射中隊長
1等陸尉
藤崎 慎平

新年あけましておめでとうございます。隊員及びご家族の皆様並びに協力団体の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスも一旦の節目を迎え、制限のない活動が可能

となり、訓練のみならず、部内外で顔を合わせて接する機会を設けることができ、今後の自衛隊への信頼向上への大きな一歩を踏み出すことができました。

また、訓練につきましても、実践を意識した各種訓練に参加し、部隊・隊員が精進になり、また一段と団結することができた年でありました。

本年につきましても、様々な訓練を通して、更なる飛躍の年とすることができるよう、一層精進して参りますので、変わらぬご理解・ご協力、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお祈い申し上げます。

ご多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。隊員及びご家族の皆様並びにOB及び各協力団体の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、5年ぶりとなる中SAM部隊対空実射検閲に参加し「要撃成功」の成果を得るとともに、野外行動訓練等を通じて厳しさを増す安全保障環境下においても、任務を完遂するために必要な練度を向上させることができました。

これもひとえに、隊員一人ひとりの努力とご家族の皆様のご理解・ご協力、ご協力の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。

本年も与えられた任務を完遂する精進な中隊を目指して中隊一丸となり職務に邁進して参りますので、変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお祈い申し上げます。

皆様方のご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

昨年、新型コロナウイルスの5類移行を受け、対面での交流を行う機会も増えたことにより、地域のイベント

にお声がけいただくことも多くなり、隊員とご家族のみならず、地域の皆様や協力団体の方々との交流を深めることができました。

さて、本年における中隊は、米国において実射訓練検閲を受験する年となります。

この貴重な経験をいただけることに感謝し、日々の訓練を着実に積み重ねて練度の向上を図り、良好な成果を収めるべく精進して参ります。

本年も、変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご多幸をお祈い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。隊員及びご家族の皆様、並びに各協力団体の皆様におかれましては、新年を穏やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、「平素での我々の存在意義は訓練である。」という信念のもと、中隊長として中隊の現状を正しく把握し、変化する情勢、運用等の変化に著実に対応しつつ、隊員一人一人が群長要望事項である「自ら考え」行動し任務を完遂出来る精進な中隊を育成すべく、中隊検閲、旅団演習等への参加を通じて着実に練度を向上してまいりました。

これもひとえに隊員一人一人の訓練に対する熱意と努力、またこれを支えていただいた隊員ご家族、関係者皆様への強い支えの上にあること心より感謝申し上げます。

本年も高射特科部隊唯一の通信科中隊としてのプライドを持ち、隊員と共に任務に邁進する所存です。

最後に本年が皆様にとって幸多き年になりますよう心よりお祈い申し上げます。

は、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、コロナ禍以前と同様に制約のない中で各種行事が実施され、また訓練・支援においても北へ南へと忙しく飛び回り、隊員一人ひとりが任務遂行能力を着実に積み上げ成長することができた、大変充実した1年となりました。

これもひとえに、隊員日々の努力とご家族をはじめとした皆様のご支援・ご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

本年も、駐屯地各部隊の任務完遂のため中隊一丸となり、装備品整備に関する技術屋としてのプロ意識をもって日々精進して参ります。

引き続きご支援、ご厚情をお願い申し上げます。

ご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。

隊員及びご家族の皆様、並びにOB及び協力団体の皆様におかれましては、心穏やかに輝かしい新年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

昨年12月1日付で、派遣隊長に上番して参ります。

影響が減少し駐屯地行事等も少しずつ開催され、いつも通りの駐屯地が返ってきました。

今後とも派遣隊員一人ひとりがシステム通信のプロとして、能力向上を目指し、駐屯地通信業務を実施して参ります。

本年も駐屯地各部隊と連携し任務完遂のため派遣隊一丸となり日々精進して参ります。

最後に、今年一年の皆様のご多幸と御健勝を祈念するとともに、青野原駐屯地並びに駐屯地隊員への変わらぬ御支援と御厚情をお願いしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

昨年、10月1日付で青野原連絡班長を拜命しております。

この場をお借りいたしまして、警務隊に対するご理解・ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

昨年、小規模な部隊ではありますが、皆様のご協力により職務に邁進することができました。

本年も、青野原駐屯地所部隊の任務達成に寄与すべく規律の維持を目的とした事件捜査及び防犯活動を実施していく所存であります。



第131地区警務隊長
3等陸尉
加藤 圭一郎

新年あけましておめでとうございます。青野原駐屯地所部隊員及びご家族の皆様並びに各協力団体の皆様におかれましては、心新たに新しい年を迎えられたことと存じます。

昨年、10月1日付で青野原連絡班長を拜命しております。

この場をお借りいたしまして、警務隊に対するご理解・ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

昨年、小規模な部隊ではありますが、皆様のご協力により職務に邁進することができました。

本年も、青野原駐屯地所部隊の任務達成に寄与すべく規律の維持を目的とした事件捜査及び防犯活動を実施していく所存であります。

新春のお慶びを
申し上げます
青野原駐屯地 一同





この若さを武器に訓練や体作りに全力で励みます。



本管中 3等陸曹
上村 共幸

幸せになる人生設計を確立していきます。



本管中 陸士長
水野 颯太

失敗を恐れず挑戦し、新たな自分の発見に努めます。



本管中 1等陸士
長谷川 弘喜

日々感謝の心を持って精進します。



338高中 陸士長
浅野 智花

二十歳になり立派な大人になる時がきた。それだけだ。



339高中 陸士長
三根 春哉

社会人として自覚を持ち立派な大人になる。



339高中 1等陸士
田中 虎太郎

何事にも歩みを止めることなく、挑戦し続けます。



340高中 1等陸士
常陰 春希

二十歳でできることを考えた結果「読書」が残りました。



308高搬通中 陸士長
土手 大輔

新成人として恥じない行動を心掛けたと思います。



302高直支中 陸士長
有蘭 洸希

先輩の手下となるように今までの技能向上に努めます。



本管中 陸士長
鳥島 稜月

更なる自分の飛躍のため、新しいことに挑戦していきます。



本管中 陸士長
酒田 碧

楽しんで生かされる人生となるよう努力していきます。



本管中 1等陸士
細谷 優馬

二十歳として、自覚ある行動をしています。



338高中 1等陸士
上本 翔太

感謝の気持ちを忘れず何事にも全力で取り組みます。



339高中 陸士長
八子 美陽

成人を迎え、人生日々鍛錬とし、毎日頑張ります。



340高中 陸士長
赤松 龍希

様々な事に挑戦していきたいと思えます。



343高中 陸士長
若林 翔

日々努力日々成長



302高直支中 3等陸曹
中村 晟流

社会人としての自覚を持ち、責任ある行動を心掛けます。



302高直支中 陸士長
櫻坂 和音

チャレンジ精神と感謝する気持ちを忘れず頑張ります。



本管中 陸士長
片岡 華暖

これからは自覚と責任を持ち自分の目標を達成していきます。



本管中 1等陸士
竹本 健人

若者らしく元気いっぱい頑張ります。



339高中 3等陸曹
松井 健祐

勤勉力行・よく働き、無駄遣いせず生きる。



339高中 陸士長
藤本 啓汰

毎日楽しく充実させ、日々精進していきます。



340高中 陸士長
右田 麗次

人一倍真面目に自覚ある行動とは何かを考えた。



308高搬通中 陸士長
杉本 圭

新しいことに、どんな挑戦していきたくて。



302高直支中 3等陸曹
根岸 駿斗

三木市・加東市・小野市 防災訓練

第8高射特科群は、9月24日、三木山総合陸上競技場において実施された「令和5年度三木市総合防災訓練」(第338高射中隊)、10月21日、加東市立東条学園小中学校において実施された「令和5年度加東市防災訓練」(第340高射中隊)及び11月11日、小野市立下東条小学校において実施された「令和5年度下東条小学校区域教育防災訓練」(第338高射中隊)を支援した。



▲倒壊家屋からの救急搬送の様子(三木市)(第338高射中隊)

各支援中隊は、倒壊家屋からの救急搬送訓練、野外炊具1号を使用した炊き出し、土嚢作成訓練及び給水訓練等を実施し、関係機関との連携強化及び自衛隊に対する地域住民の理解促進を図った。



▲土嚢作成訓練の様子(小野市)(第338高射中隊)



▲炊き出し訓練の様子(加東市)(第340高射中隊)

青野原駐屯地業務隊 無事故500万km達成!

青野原駐屯地業務隊は、9月下旬、官用車両の無事故走行距離500万kmを達成した。



▲記念撮影の様子

駐屯地創設当時から、業務隊が保有する官用車両の走行距離を合算し、見事500万kmの無事故走行を達成した。青野原駐屯地業務隊は引き続き、安全な運行に努め、任務完遂に向けて邁進する。

方面隊統制演習場秋季整備

第8高射特科群は、10月下旬から11月上旬までの間、日本原演習場において「令和5年度方面隊統制演習場秋季整備」に参加し、松喰虫被害木等処理、制水設備改修、安全柵整備、伐木、枝払い及び除草等を実施し、訓練基盤の維持・拡充を図った。



▲安全柵整備の様子



▲暗渠整備の様子

転出入

●転出

中部方面後方支援隊
第107全般支援大隊(桂)へ
302高直支中 3尉 黒飛竜之介
青野原駐屯地業務隊へ
318基通中 1尉 北條弘師
以上令和5年12月1日付

●転入

中部方面通信群(伊丹)から
302高直支中 1士 中嶋翼
302高直支中 2士 梶川直人
302高直支中 2士 溝辺碧斗
以上令和5年10月20日付
第318基地通信中隊青野原派遣隊から
業務隊 1尉 北條弘師
令和5年12月1日付

高射学校(下志津)から
群本部 1尉 柳沼秀寿
令和5年12月22日付

課程教育等優秀者

第143期初級陸曹教育課程
教育隊長賞
340高中 3曹 服部哲
令和5年度ホーク・中SAM部隊
実射訓練検閲支援評価支援隊
褒章状
302高直支中 3曹 河原広空

部内大会成績優秀者

第27回全自衛隊陸上競技会
男子1500mの部
第5位
339高中 士長 三根春哉

加東市 防衛協会総会

加東市防衛協会は10月24日、定期総会を実施し、令和4年度事業報告、収支決算報告、令和5年度事業計画案及び収支予算案について審議され、過半数以上の賛同をもって可決した。

加東市・加西市・小野市

防衛協会部隊研修

加東市防衛協会は和歌山駐屯地、加西市防衛協会は明野駐屯地及び小野市防衛協会は八尾駐屯地の部隊研修を実施し、陸上自衛隊及び中部方面隊の部隊に対する理解促進を図った。

はたらくくるま大集合！支援

第8高射特科群は、10月28日、東条湖おもちゃ王国において「第20回はたらくくるま大集合！」を支援した。
第340高射中隊が小型車を展示・説明し、自衛隊に対する理解促進を図った。



▲小型車展示の様子

多可町ふれあいまつり支援

第8高射特科群は、11月5日、ガルテン八千代グラウンド周辺において「多可町ふれあいまつり」を支援し、第343高射中隊が03式中距離地对空誘導弾発射装置の展示・体験試乗を実施し、自衛隊に対する親近感の醸成を図った。



▲03式中距離地对空誘導弾発射装置展示の様子

HAT神戸防災訓練支援

第8高射特科群は、10月28日、なぎさ公園周辺において「HAT神戸防災訓練」を支援し、本部管理中隊が大野車及び野外炊具1号の展示・説明を実施し、自衛隊に対する理解促進を図った。



▲野外炊具1号の展示・説明の様子

防災フェスティバル支援

第8高射特科群は、11月5日、sora加西で実施された「KASAI防災フェスティバル」に参加し、第343高射中隊が大型車の展示及び野外炊具1号によるカレーの炊き出し訓練を実施し、自衛隊に対する地域住民の理解促進を図った。



▲炊き出し訓練の様子

▲部隊研修の様子(加東市)



▲部隊研修の様子(加西市)



▲部隊研修の様子(小野市)

新着任指揮官の紹介

第318基地通信中隊
青野原派遣隊長

3等陸尉 **森山 仁**

- 出身地：熊本県
- 前部隊：第3通信大隊 第2中隊 総務幹部
- 趣味：筋肉トレーニング 旅行
- 抱負：駐屯地所在部隊への通信支援業務を行うため、日々努力します。



叙勲者の紹介

第41回危険業務従事者叙勲
瑞宝双光章 **久保 清和様**

清和様

ご結婚おめでとうございます！

11月22日入籍
338高中 3曹 (松本) 紗也加
12月13日入籍
本管中 3曹 (鈴木) 松雅人
12月13日入籍
3曹 (高木) 雅ひかり



お誕生おめでとうございます！

令和5年11月14日生
わかな **和佳奈ちゃん**
(次女)
302高直支中
1曹 平尾 貴之

令和5年10月9日生
さくら **心桜ちゃん**
(次女)
302高直支中
2曹 田口 智士

令和5年10月10日生
ゆき **千慈くん**
(三男)
本管中
2曹 納 靖博

令和5年11月10日生
ふうか **楓華ちゃん**
(長女)
340高中
2曹 小田口 将太



ご逝去の報に接し謹んでお悔やみを申し上げます。
令和5年10月10日
青桜会会員 **濱本 猛 様**